

CKDサポートチーム



STOP!CKD

「日本腎臓学会」から国民の皆様へ

「社団法人 日本腎臓病学会」ホームページより

わが国の高齢者人口は今後も増え続け、2025年には全国民の約30%が65歳以上の高齢者になると言われています。同時に慢性腎臓病（chronic kidney disease：CKD）に罹患し、重症化したために新たに透析を開始される方々が年々増加し、2014年（平成26年）末には透析患者数は32万人を超えています。年齢が高くなるほどCKDの患者数は多くなることが明らかにされ、高齢化が進むわが国において着実にCKDの重症化を予防することは、新規透析導入患者減少実現のための大きな課題です。

また、CKD患者は、脳卒中、心筋梗塞などの心血管疾患発症の危険性が極めて高いこと、その原因として、糖尿病、高血圧、動脈硬化症といった生活習慣病が関連したものが多くなっています。CKDは透析の大きな危険因子であるだけでなく、心血管疾患の危険も増やし、生活習慣病と深く関わっています。

これまで厚生労働省と日本腎臓学会は、協同してCKDの重症化を予防する施策を検討してきました。われわれの検討からは、CKDの重症化予防を実現するには、①生活習慣を見直し腎臓に不必要な負担をかけない（発症予防）、②健診でCKDを早期に発見する（早期発見）、③みつかったCKDを放置しないで、かかりつけ医や専門医によって適切な医療を実現する（重症化予防）、が重要であることがわかってきました。その実現に向けて、それぞれの地域でCKD対策を視野に入れた健診・保健指導の実施や医療連携体制を構築し、CKDの発症予防・早期発見・重症化予防の取組みが行われ始めています。

昨年から、CKD（慢性腎臓病）療養指導士の資格が新設！

受験資格：看護師，管理栄養士，薬剤師の資格を有し 資格取得後3年以上経過している者
当院でも今後有資格者が誕生する可能性があります。

糖尿病療養指導を毎週金曜日の午後行っています。

腎臓内科を受診された糖尿病性腎症の患者さまで予約の患者さまに対して、医師、看護師、管理栄養士がそれぞれ指導させていただきます。指導では、透析導入を遅延させ、生活の質の向上のために療養生活の見直しやサポートをさせていただきます。

